BIM×蔵衛門で配筋検査を自動化「Archi Future 2025」にてU's Factoryと共同セミナー開催

株式会社ルクレ

2025年10月22日

"デザイン×アイデア×ITですべての人を次の世界へ"をミッションとする株式会社ルクレ(以下、ルクレ)は、BIM活用を推進する株式会社U's Factory(以下、U's Factory) と共同で「BIM×蔵衛門による配筋検査の自動化」をテーマにセミナーを開催します。本セミナーは、2025年10月23日(木)に「Archi Future 2025」のテクニカルフォーラムとして行われます。

「BIM×蔵衛門」に関するお問合せ先

蔵衛門お問合せ窓口: https://www.kuraemon.com/contact/



【開催の背景】「蔵衛門配筋カメラ」とU's Factoryの技術連携で実現する現場DX

配筋検査は、建築物の品質を担保する上で極めて重要な工程です。しかし、事前の準備、現場での検査、写真撮影、検査帳票の作成、報告に至るまで、多大な時間と労力を要し、現場における効率化のニーズが非常に高い業務となっていました。

ルクレが開発した「蔵衛門配筋カメラ」アプリは、BIMの構造データとの連携により、この課題を解決します。配筋位置・伏図・設計値などのデータに基づき、電子小黒板や検査シートを自動作成。現場で、検査、写真撮影、検査帳票の作成、報告までの全工程を完結させることができます。「ARCHICAD」や「Revit」などのBIMソフトとの連携が可能です。

この度、「誰でも簡単にBIMを活用できる」をコンセプトに、「BI For ARCHICAD」等のソフトを提供するU's Factoryと、現場の品質向上と作業効率化という共通の理念のもと、共同でのセミナー開催に至りました。両社の技術連携により、建設現場のDXをさらに加速させてまいります。

展示会「Archi Future 2025」のセミナー(テクニカルフォーラム)として開催します。

·日 時:2025年10月23日(木) 15:00~15:30

・会 場:TFTホール東館 9階 D会場(東京都江東区有明3-4-10)

・題 名: 工事前3D配筋検査とリアル配筋検査「蔵衛門(BI For AC)」自動連携

―品質問題の悩みを解消!協力会社と連携した情報共有・作業効率化の事例―

・登 壇:株式会社U's Factory 代表取締役 上嶋泰史氏 株式会社ルクレ 小山賀久

■株式会社U's Factoryについて

建築における「リアルとバーチャルの融合」を目指し、BIM活用を促進するソフト「BI For ARCHICAD」や「Info360」の開発・販売事業、高精度3D計測サービスやBIMコンサルティング事業を展開しています。 コーポレートサイト: https://us-factory.jp/

『蔵衛門(くらえもん)』とは

1999年に発売した台帳作成ソフト『蔵衛門御用達』によって、写真管理に忙殺される現場監督の負担を軽減し、大手ゼネコンから小規模工務店にまで導入されています。建設業界が業務効率化のために推奨する"電子小黒板"を、デジタルカメラに代わる電子小黒板タブレットとして『蔵衛門Pad』を2014年に発売。国土交通省が定めるNETIS(※)で最高評価(VE)を獲得しました。

建設業への残業規制を受け、現場監督ひとりに対する効率化ではなく、現場全体の効率化を推進するため、2022年4月からは、現場アプリ・共有クラウド・パソコンソフトをワンプラットフォーム化した『蔵衛門プレミアム』を提供開始。施工管理で誰もが使う工事写真を軸にしているため、現場に無理なく浸透・定着させることが可能です。工事写真からはじめる建設DXプラットフォーム「蔵衛門」として施工に関わるすべての人の業務効率化を推進します。

※ NETIS (New Technology Information System: 新技術情報提供システム)

【株式会社ルクレ】

株式会社ルクレは、"デザイン×アイデア×ITで すべての人を次の世界へ"をミッションに掲げ、生活やビジネスなどさまざまなシーンにおける既存の考え・方法・癖(ユーザーリアリティ=UR)を理解し、ユーザーを軽やかに次の世界へと連れて行くサービスを提供しています。

代表取締役:有馬 弘進(ありま ひろのぶ)

会社設立:1995年9月20日 公式サイト: https://lecre.jp







※「蔵衛門」は、株式会社ルクレの登録商標です

【報道関係の方のお問合せ先】 株式会社ルクレ 広報担当: 阿部 TEL: 03-4500-6700 MAIL: pr@lecre.jp